情報発信レポート



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第91号(2011年8月31日)



【アラブ首長国連邦による国際貢献】

現在アフガニスタンで活動している国際治安支援部隊は北大西洋条約機構(NATO)が統括しており、参加国も欧州連合(EU)を中心に欧州諸国が大半を占めていますが、実はこの部隊にアラブ首 長国連邦も参加しています。

現在アフガニスタンにはアラブ首長国連邦から約250人の部隊が駐留しています。地雷の撤去のような危険な仕事から医療的なサービスといった人道的な仕事まで幅広く手がけているとのことです。 先日アブダビ首長国の皇太子でもあるMohammad Bin Zayed Al Nahyan連邦軍最高副司令官の前で披露された最新のドキュメンタリーによれば、アラブ首長国連邦からの派遣団は2003年からアフガニスタンのHelmandという地方に駐在しており、即席爆発装置と呼ばれる爆弾の危険にさらされながら任務についているとのことです。Helmandはタリバンの勢力が強い地域で、アフガニスタンの中でももっとも危険な地域の一つとされています。

部隊は即席爆発装置の撤去で実績を残しつつ、他には、地元の人の協力を得て、潜入者、薬物の違法売買人、地雷の設置をもくろむタリバンなどから地域を守っているとのことです。

また、度重なる内戦や不安定な情勢の結果経済成長が遅れており、アフガニスタンの女性や子供の健康問題をサポートする必要性がますます高まっているとして、派遣団は定期的に薬や医療サービスをアフガニスタンの国民に提供しています。

アラブ諸国からアフガニスタンに駐留しているのはアラブ首長国連邦のみであることから、モスクの 建設を通じて宗教的なニーズも満たしています。



情報発信レポート



『らくだより』



スパークスの中東地域における情報発信レポート

【世界初の、ラクダのミルクで作られたチョコレート】

以前らくだより第66号で紹介させていただきました、世界初のらくだのミルク製のチョコレートのブランドとして知られるドバイのアルナスマが、来月にもチョコレート国としても知られるスイスに進出することになりました。

実はこのブランドは既に日本にも進出しており、通信販売で商品が購入できるようです。同社の通信販売用のWebサイトのFAQによれば、アルナスマという名称は、アラビア語でTheという意味のアルと、砂漠に吹くそよ風という意味のナスマから名付けられているようです。

日本の他には、欧州、クウェート、サウジアラビアに進出済みで、9月にはエジプトでも販売を開始することが検討されています。

アルナスマはドバイのコーヒーショップでは既にらくだ(キャメル)をイメージした温かい飲み物として、「キャメラッテ」、「キャメルシーノ」といった商品を展開しており、更に多くの派生品の投入を予定しています。

一方で同社によれば、一定の品質を満たしたらくだのミルクは入手に限界があることから、同社の 成長も緩やかなものになるだろうとのことです。

らくだのミルク製品についての需要はあるかもしれませんが、一方で欧州連合(EU)が少なくとも 2013年まではらくだの生ミルクのEUへの輸出を認めないと決めたことから、アラブ首長国連邦のらくだの酪農家はつまずいてます。

EUの許可がおり、らくだのミルクの生産が活発になる頃には、らくだのミルクでできたチョコレートが一般的になっているかもしれません。





情報発信レポート



『らくだより』



スパークスの中東地域における情報発信レポート

【ドバイの警察当局の責任者がTwitterを開始】

ドバイの警察当局の責任者を務めるDahi Khalfan Tamin中将は7月の下旬にTwitterの利用を開始しました。ドバイの警察当局の高官としては初めてのことであり、政府当局者としても非常に珍しいことのようです。

Dahi中将はTwitterを始めた理由として、「国民が高官にアクセスすることは容易ではなく、ソーシャルメディアの活用によってそれを容易にすることができる」ことを挙げ、国民の質問や不満の声に耳を傾けたいとしています。

Dahi中将自身は色々なことをつぶやく一方で、国民の警察に対する不満などについては適宜関係 部局に話をするとしています。

また、他の政府高官にもTwitterの利用を促していくようで、Dahi中将自身は近いうちにFacebook の利用も開始するとのことです。

【MENA諸国の雇用環境が改善】

中東、北アフリカの通称MENAと呼ばれる諸国において、雇用環境が改善しそうです。MENA地域における転職サイト最大手の一つBayt.comがアラブ首長国連邦、サウジアラビア、カタール、オマーン、クウェイト、バーレーン、シリア、ヨルダン、レバノン、エジプト、モロッコ、チュニジア、アルジェリアにおいてオンラインで行った調査によれば、企業から得られた約4,500件の回答のうち50%以上において、第3四半期に新しいスタッフを雇うと回答しています。

調査結果によれば、回答企業の26%がおそらく雇うと、そして28%が確実に雇うと回答しています。 業界としては通信、次いで銀行、金融、建設における雇用が活発になるだろうとされています。 これらの結果を受けてBayt.comは「域内の経済環境を考えれば相対的には堅調」としています。



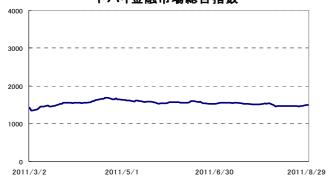
『 らくだより 』

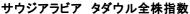
スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ご参考】<u>中東(GCC)地域の株価推移</u> (各市場の直近6ヶ月)

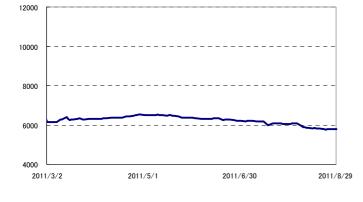
ドバイ金融市場総合指数



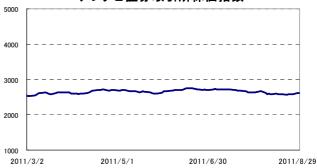




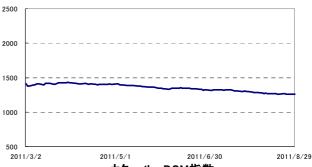
クウェート証券取引所指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



カタール DSM指数

10000

8000

7000

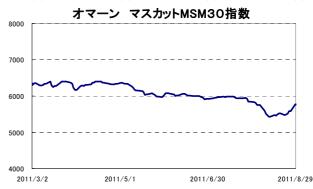
6000

2011/3/2

2011/5/1

2011/6/30

2011/8/29



出所:FACTSET

